

感染症関連情報（パラナ州におけるデング熱の発生状況）

パラナ州保健局は、2013年2月13日時点の州内保健局支部別デング熱感染者数（2012年7月29日～2013年2月8日の期間に発生した州内感染者数及び州外感染者数の合計数）及び感染疑義者数につき公表したところ、概要を以下のとおり、お知らせします。

- 州合計 3,439名（感染疑義者：14,994名）
1. パラナバイ：1,457名（感染疑義者：3,140名）
 2. カンポ・モウラオン：1,214名（同3,403名）
 3. ロンドリーナ：176名（同3,918名）
 4. シアノルテ：142名（同431名）
 5. マリンガ：117名（同1,088名）
 6. フォス・ド・イグアス：108名（同859名）
 7. カスカベル：75名（同463名）
 8. トレド：59名（同416名）
 9. クリチバ大都市圏：38名（同206名）
 10. ウムアラマ：22名（同342名）
 11. フランシスコ・ベルトロン：7名（同189名）
 12. パト・ブランコ：7名（同38名）
 13. アプカラナ：6名（同217名）
 14. グアラブアバ：4名（同23名）
 15. コルネリオ・プロコピオ：2名（同141名）
 16. ジャカレジーニョ：2名（同49名）
 17. イバイポラン：1名（同20名）
 18. ポンタ・グロッサ：1名（同11名）
 19. パラナグア：1名（同9名）
 20. テレマコ・ボルバ：0名（同26名）
 21. イラチ：0名（同4名）
 22. ウニオン・ダ・ビトリア：0名（同1名）

○感染経路：ウイルスを保有した蚊に吸血された際に感染する。媒介蚊は日中、都市部の建物内外に生息するヤブカ類である。

○主な症状：2～15日（多くは3～7日）の潜伏期ののち、突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹。デング熱患者の一部は重症化して、出血傾向を伴うデング出血熱を発症することがある。

○感染予防：長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。虫除け剤や蚊帳の使用等により、屋外だけでなく屋内でも蚊に刺されないように注意する。室内

の蚊の駆除を心がける。